

清瀬 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位数：3 単位
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者： 名取
 使用教科書：（『詳説 世界史探究』 山川出版社）
 教科 地理歴史 の目標

- 【知識及び技能】 世界史のあらゆる事象に対して地域的特色と世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史的事象に対して特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体性を持って世界史の課題を過去から現在に通じる問題点に言及し歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を自ら考えて解決しようとする態度を養うとともに過去の過ちから学び反省を時代につなげる人間性向上を意識する。

科目 世界史探究 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史に関する諸事象について、時代的背景、地理的条件や同時代の日本の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	人類が経験してきた多くの争いに関する諸事情から民族問題、宗教問題といった課題に想像力を働かせ同じ失敗を招かない問題解決能力を育成する。時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して連想したことを相互に意見交換し表現する能力も育成する。	世界の歴史的事象を現代の問題に関連させ、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	①人類の誕生を地球46億年の歴史のなかに位置づけて考察する。 ②自然環境と人類の関わりの概要を理解する。 ③人類の進化の過程の概要を理解する。	自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現している。	長期にわたる地球気温の変化を示す統計資料や「地球カレンダー」などの資料をもとに、地球の自然環境が直面している危機およびその克服へ向けた取り組みを、多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	5
	①西アジアの身分・階級・王権・宗教に関する資料から情報を読み取ったりまとめる。②西アジアにおいて多様な身分・階級が生まれた背景および宗教と王権の関係について考察する。③自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。④自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。⑤おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。⑥オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。⑦都市国家に富や権力が集まった理由を多面的・多角的に考察し表現する。⑧メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産を理解する。⑨エジプト王国が長期にわたって安定した支配を続けられた理由を多面的・多角的に考察し表現する。⑩シリア・パレスチナ地方で多くの民族が興亡を繰り返した背景を理解する。⑪クレタ文明とミケーネ文明を比較し、そのあいだの性格の違いを理解する。⑫アッシリアがオリエントをはじめて統一することができた背景を多面的・多角的に考察し表現する。	①自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。②おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。③壁画や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。④オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。	文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。⑤古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。⑥オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。⑦オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	①南アジアの多様性を生み出した地理的環境について理解する。②南アジア最古の文明であるインダス文明が栄えた場所の特徴を理解する。③アーリヤ人の進入が南アジアにもたらした変化について多面的・多角的に考察し表現する。	南アジアが南北に大きく二分されること、それぞれの風土に適合した生活が古くから営まれていたことを理解している。	ヴァルナ制やシャースティ集団の成立をもとに、アーリヤ人社会に富や地位の差が生まれていった背景や原因を考察し表現している。④南アジアの古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8

2 学 期	①東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生業などに与えた影響を考察し表現する。 ②殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。 ③春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序について違いを見出す。 ④戦国時代の社会において、鉄器の普及がおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤北米と中南米の先住民社会を比較し、共通点と相違点を理解する。 ⑥中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑦新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。 ⑧漢の支配体制の変遷を理解する。 ⑨遊牧民族の動きと魏晉南北朝の動乱との関係について理解する。 ⑩魏晉南北朝時代に仏教や道教が力を持つようになった要因や背景を、多面的・多角的に考察し表現する。 ⑪魏晉南北朝時代の中国の情勢が、朝鮮や日本に与えた影響について理解する。	東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。 南北アメリカ文明に共通する特徴、とくにユーラシアやアフリカの古代文明とは異なるものを多面的・多角的に考察し表現している。 中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土との関係を理解する。 騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を多面的・多角的に考察し表現している。 遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。 オアシス民と遊牧民の関係を多面的・多角的に考察し表現する。	銅器や獣骨など考古学的資料や『春秋左氏伝』などの資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。 中国の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 南北アメリカ文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 魏晉南北朝の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	①仏教やジャйна教などの新たな宗教に共通する点について理解する。 ②南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとでの仏教の発展について理解する。 ③クシャーナ朝と周辺諸地域との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ④「海の道」の交易における南インドの役割を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土との関係を理解する。 ⑥騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を多面的・多角的に考察し表現している。 ⑦遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。 ⑧オアシス民と遊牧民の関係を多面的・多角的に考察し表現する。	南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 インド洋航海図（地図）や『エリュトッラー海案内記』などの資料をもとに、インド洋交易の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。	南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 それまで仏教やジャйна教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。 インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解している。 ササン朝と法隆寺の『獅子狩』図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2 学 期	①ボリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。 ②スパルタが軍国主義をしいた理由を多面的・多角的に考察し表現する。 ③民主政発展の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。 ④ギリシアの諸ボリスがマケドニアに敗れた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤ヘレニズム時代の歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑥ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑦ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 ⑧地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。 ⑨ローマの内乱の発生から終息までの経緯を理解する。 ⑩「ローマの平和」が地中海世界に与えた影響を理解する。 ⑪ローマ帝国が危機を迎えた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑫ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。	アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 オストロンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、ギリシアの人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。	古代ギリシアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 モザイク画などの図像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	①キリスト教の成立の経緯を理解している。 ②ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。	勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。	当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。 キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
2 学 期	①アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解する。 ②ウマイヤ朝の領域的な広がりとその支配の特徴を理解する。 ③アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解する。 ④イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。 イスラーム政権の拡大を示す地図やアラバスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10

3 学 期	①ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。 ②ビザンツ帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較したうえで理解する。 ③ローマ教会とフランク王国の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ④カールの戴冠が世界の歴史において持つ意義について理解する。 ⑤ノルマン人が西ヨーロッパ世界において果たした歴史的役割について理解する。 ⑥西ヨーロッパに特有の封建社会の仕組みについて理解する。 ⑦13世紀におこなわれていた交易に関する資料から、情報を読み取ったりまとめたりする。 ⑧13世紀において諸地域でおこなわれていた交易の特徴について考察する。⑨イスラーム化が中央アジアにもたらした変化について理解している。 ⑩南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていった経緯を理解している。 ⑪東南アジアにおいてイスラーム化が進んだ背景について考察し表現している。 ⑫アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を考察し表現している。	西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。資料から情報を読み取ったり、まとめたリする技能を身に付けている。中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。	リューシュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。また、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。『トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
							合計
							105